

出退店の“店舗のライフサイクル”情報を一元管理

Negozio ネゴシオ



Negozioとは？

出店から退店までの“店舗のライフサイクル”で発生する情報の一元管理や店舗に関連する情報の統合で、多店舗チェーン本部を悩ませる店舗管理業務の効率化を実現します。

店舗情報の一元化、共有化による生産性向上と業務の高度化を実現！

多店舗チェーン企業向けの

物件・店舗・契約・設備修繕情報などの「店舗情報」の統合データベース！

物件・店舗・契約・設備修繕などの「店舗開発・店舗管理業務」は、IT化が積極的になされず、表計算ソフトなどによる属人的業務が一般的です。

しかし、店舗展開と維持はチェーン企業の成長に直結する重要な要素であるため、多量の経営資源が投入されています。

Negozio（ネゴシオ）は多店舗展開企業様の店舗にまつわるバックヤード業務のIT化を強力に押し進め、店舗情報の一元化、共有化による生産性向上と業務の高度化を実現します。

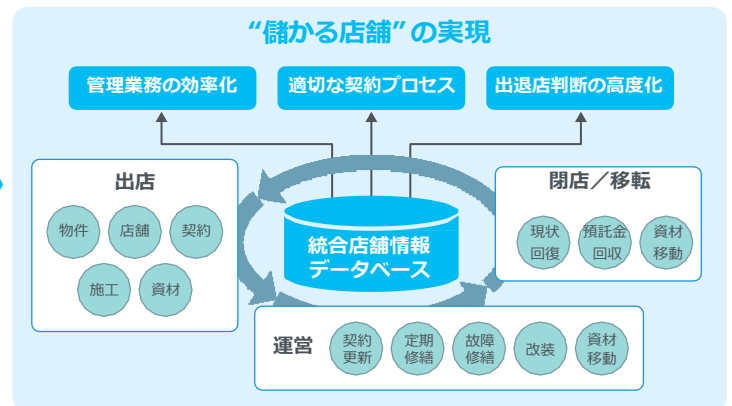


サービス概要

店舗は、出店～運営～閉店といったライフサイクルを辿ります。その過程で、さまざまなイベントが発生し、多くの管理すべき情報が発生します。これらの店舗にまつわる情報を、店舗のライフサイクルに沿って一元管理するデータベースです。

お客様の課題例：

賃貸借契約 契約諸条件、過去条件、地主など情報管理。更新や交渉、支払予定、預託金などの管理。	店舗カルテ 店舗の基本情報が散在、最新情報の把握に手間がかかる。
資材 どの店舗に何が今あるのかが不明。	修繕 修繕案件の傾向分析と適正修繕費の交渉。
工事スケジュール 各出店案件の進捗が事業計画通りか、把握に時間がかかる。	収益 店舗の建設不動産コストも含めた、真の店舗収益がタイムリーに把握できていない。



主要機能

モジュール	機能
共通	・共通基盤 ・ログイン・権限 ・文書管理 ・簡易検索
物件・店舗	・物件情報 ・店舗情報
賃貸借契約（借り手）	・借り手契約管理 ・交渉管理 ・預託金管理 ・契約先管理 ・支払予定・支払明細 ・税務
賃貸借契約	・貸し手契約管理 ・請求予定・請求明細
フランチャイズ契約	・フランチャイズ契約管理 ・フィー管理
施工	・工事情報 ・施工業者 ・発注・仕入 ・スケジュール管理
設備・修繕管理	・設備管理 ・保全管理 ・修繕管理

多くの事例実績を通じ、店舗情報として管理することが適切な領域を、左図のように整理しています。Negozioは、モジュール単位で提供しています。個社ごとの業務課題をふまえて適切なモジュールを選択し、セミオーダーの形で導入させていただくことで、業務にフィットした使いやすい統合店舗情報データベースを実現します。

お問い合わせ

流通・メディアシステム事業部門 流通システム第一事業本部 営業部 担当:高山

03-5859-3710 sys-negozio-promo@ml.scsk.jp

WEBでチェック

scsk negozio

検索

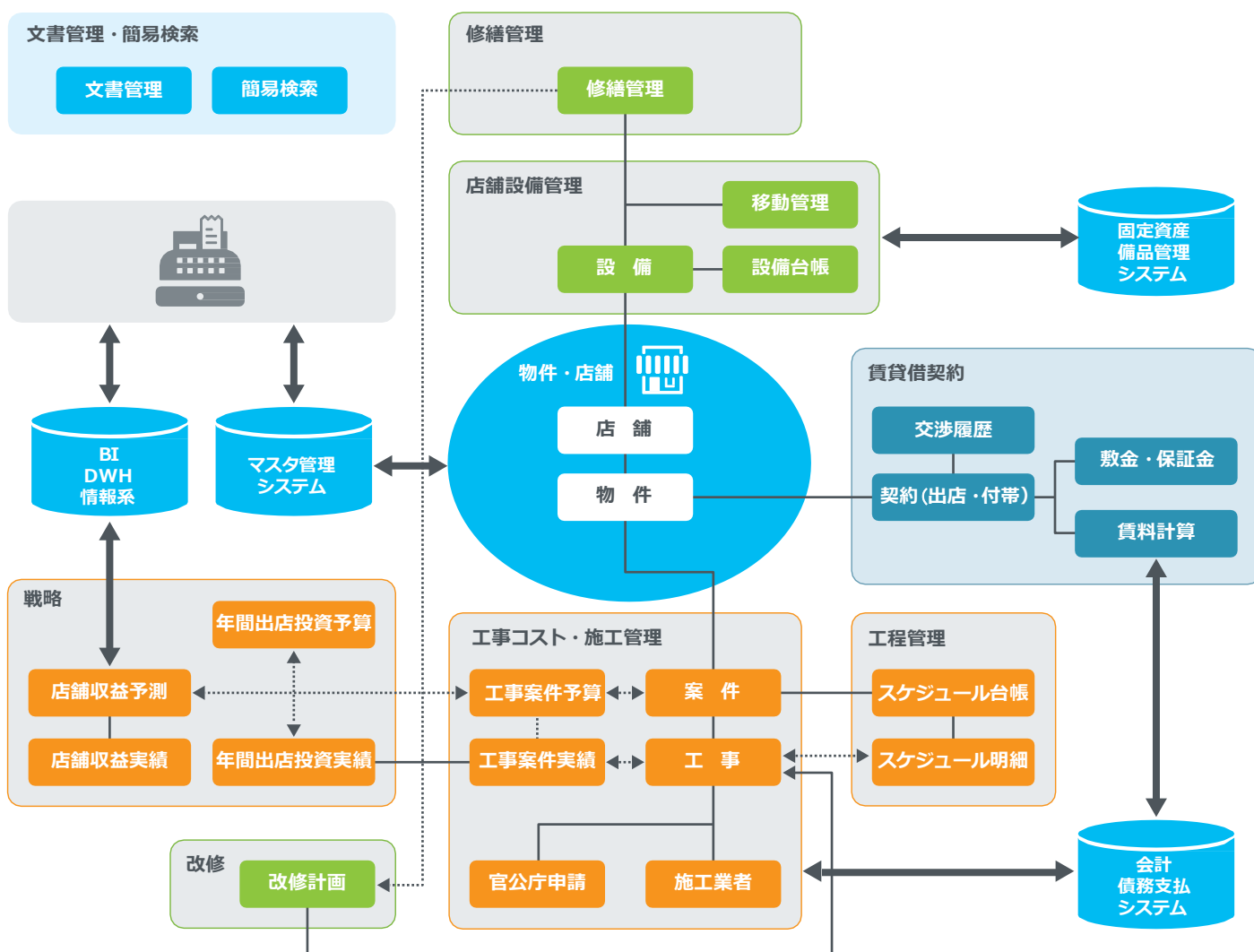
スマートフォンでチェック ▶



国内唯一の、店舗開発・店舗管理業務向け統合ソリューション

- ① 選ばれる理由 国内では同種のITソリューションが他に無く、同業務領域のデファクトである。
- ② 選ばれる理由 国内の名だたる小売業外食業を中心に多くの導入事例があり、ノウハウが豊富。
- ③ 選ばれる理由 店舗開発・設備管理業務のために作られており、業務で使いやすい。

システムイメージ



価格体系 (ご参考価格。条件によりご相談させていただきます)

テンプレート費用: 1モジュール: 1,000千円~ (ユーザー数無制限)

セットアップ費用: 1,000千円

セミオーダー費用: 要件定義・設計・構築・テストなど (個別見積り)

※ 別途、要インフラ・ミドルウェア費用

● オプション作業

稼働後支援: 個別見積り

データ移行支援: 個別見積り

● 姉妹ソリューション

Negozioのノウハウで実現した、簡易版クラウドモデルや、別システム基盤上で実現した派生モデルも提案可能です。

導入企業 **小売業 A 社 様**

導入システム **出店から退店までの“店舗のライフサイクル”情報を一元管理 Negozio**

出店交渉担当者個人が記憶する店舗情報をITシステムで社内共有

背景・課題

店舗網の急拡大に伴い、店舗の管理業務量が増えるとともに、店舗の賃貸借契約数が膨大となっていた。
また、出店担当者たちの退任時期が近付いており、店舗のさまざまな情報の生き字引的な人がいなくなる予定であった。

- 課題 1** 賃貸借契約の締結・更新といった管理業務、および契約に基づく支払業務の効率化
- 課題 2** 過去経緯も含めた店舗情報は、人の記憶とエクセルにたのんでいたが、情報確保に難があり、精度が低かった
- 課題 3** 出退店や改装判断の元となる経営層向け週次レポートの作成に、都度最新の店舗情報収集から行う必要があったため、現場の大きな負担となっていた

選定のポイント

POINT 1 データモデルの業務との親和性

- 店舗開発・設備管理を想定して設計されたデータモデルのため、システム全体の画面や項目のつながりが直観的にイメージ可能で、操作性が優れていた。

POINT 3 導入／運用コスト

- アプリケーションテンプレートをを用いた開発のため、通常のスクリッチ開発より短期間・低コストで実現できた。また、製品保守が無いランニングコストも安価となった。

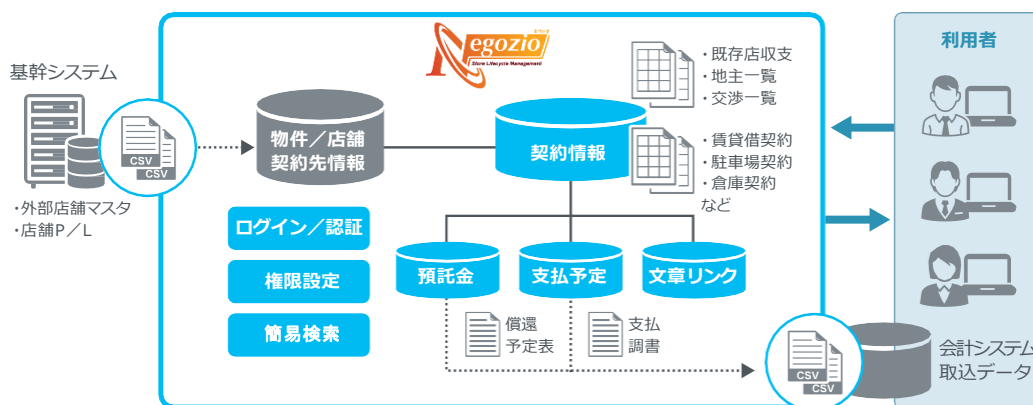
POINT 2 カスタマイズに関する高い柔軟性

- 初の当該領域向けのITシステム導入のため、システムを使い始めてから、色々な追加要件が発生することが予想された。Negozioは元々セミオーダーのため、機能追加が柔軟だった。

POINT 4 事例とノウハウ

- SCSKが店舗開発・設備管理領域のシステム化実績が豊富にあったため、次工程以降に計画されていた独自機能アドオンにおいても、良い提案が受けられると考えられた。

導入イメージ



ポイント

- これまで各個人が、個人の業務目的に沿ったエクセルで管理していた情報を、登録担当者を任命し、一元的にシステムに登録するようになった。
- システムに登録された情報をもとに、業務に必要な情報や、定型レポートを出力するようになった。
- エクセルでは難しかった、過去の経緯の情報を、システムによりきれいに格納することができ、データの活用が可能となった。

導入効果

店舗情報の一元管理が実現し、精度と鮮度が高い店舗情報をもとに業務を推進する基盤が構築された。

- 効果 1** 店舗管理業務や、店舗情報をもとにしたレポート業務において、10～40%の効率化が実現された。
- 効果 2** 個人の記憶やエクセルから脱却することで、業務統制面や、情報散逸・漏えいのリスクが解消された。
- 効果 3** 出退店改装の判断時に、建設不動産コストもふまえた正確な判断を、迅速にできるようになった。

導入企業 **外食業 B 社 様**

導入システム **出店から退店までの「店舗のライフサイクル」情報を一元管理 Negozio**

店舗のライフサイクルにかかるコストの把握

背景・課題

好調な業績を反映し、店舗網は拡大の一途を続けていたが、これに伴って既存店舗管理業務も増大していた。
また、強い既存店を実現するために、店舗の建設不動産コストも踏まえた原価管理を強化する必要があった。

- 課題 1** 各個別の既存店管理業務において必要となる店舗情報が部署別に散在し、正確な情報確保に難が生じていた
- 課題 2** 店舗設備情報が管理されていなかったため、修繕・移動・廃棄といった設備管理業務に制約が生じていた
- 課題 3** 店舗収益の正確な分析をしたくても、店舗の軸となる情報や、建設不動産原価の情報が蓄積されておらず、かつデータの精度と鮮度に問題を抱えていたため、正しい分析が不可能となっていた

選定のポイント

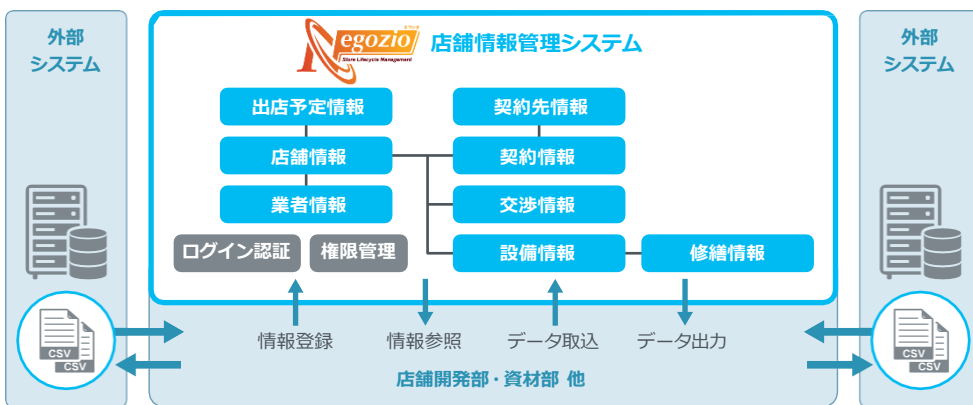
POINT 1 **ソリューションコンセプトとデータモデルの適合**
 ● 既存店管理業務の効率化のためには、既存店情報が一元管理されたデータベースが必要となっていた。
 Negozioは、この既存店情報統合DBに最適な選択であった。

POINT 3 **仕様開示**
 ● 既存システムが機能不足かつブラックボックスとなっていたが、Negozioは技術的にも一般的かつ仕様開示も十分であり、将来の拡張性・安全性が確保されていた。

POINT 2 **短納期**
 ● 店舗の正確な原価把握は経営戦略であり、早期の実現が急務であった。Negozioはテンプレートベースのセミオーダーのため、短い期間で適合度の高いシステム実現が可能であった。

POINT 4 **データ移行支援**
 ● 既存店情報が、あまりに広範囲かつ複雑な形で散在していたため、データの初期移行が重要となった。SCSKは過去に同作業の支援経験が豊富であり、適切なサポートが期待できた。

導入イメージ



ポイント

- 各部署、各担当が独自に管理していた情報が、一元的にシステムに登録されるようになった。
- 既存店情報として適切な情報の塊が、精度と鮮度が担保された状態で登録されているため、業務に必要な情報出力条件保存の機能で自由に抽出し、活用可能となった。
- 店舗ライフサイクルに関する情報をBIシステムに連携することで、より高度な店舗収益分析が可能となり、店舗経営の高度化の基礎となった。

導入効果

既存店情報の統合データベースが整備され、大規模チェーンにおける高度な店舗経営の情報基盤が整備できた。

- 効果 1** 人海戦術では限界だった既存店管理業務が、さらなる店舗数増にも耐えうる状態に改善された。
- 効果 2** 賃料や預託金などの大きなお金の管理が正確になり、業務の正確性および統制面が向上した。
- 効果 3** 収益が確保できる出店や、既存店保全費適正化など、データをもとにした高度な施策が可能となった。